

## 略 歴

1940 年10月 大阪府大阪市に生まれる  
 1964 年 3 月 和歌山大学経済学部卒業  
 1964 年 4 月 大阪大学大学院経済学研究科修士課程入学  
 1966 年 3 月 大阪大学大学院経済学研究科修士課程修了  
 1966 年 4 月 大阪大学大学院経済学研究科博士課程入学  
 1970 年 3 月 大阪大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学  
 1980 年10月 経済学博士（大阪大学）

1967 年 4 月 九州産業大学講師（商学部）に採用（1970 年 3 月まで）  
 1970 年 4 月 和歌山大学講師（経済学部）に採用  
 1972 年 4 月 和歌山大学助教授（経済学部）  
 1981 年 4 月 和歌山大学教授（経済学部）  
 1985 年10月 和歌山県文化表彰（奨励賞）  
 1993 年10月 和歌山大学経済学部経済学科長（併任, 1995 年 3 月まで）  
 1995 年 4 月 和歌山大学評議員（併任, 1997 年 3 月まで）  
 1997 年 4 月 和歌山大学経済学部長・大学院経済学研究科長（併任, 1999 年 3 月まで）  
 1999 年 4 月 和歌山大学評議員（併任, 2005 年 3 月まで）  
 2006 年 3 月 和歌山大学定年退職

### 非常勤講師

鹿児島経済大学経済学部・北九州大学商学部・花園大学文学部・滋賀大学経済学部・  
 京都大学人文科学研究所・富山大学経済学部・大阪大学経済学部・関西大学大学院文  
 学研究科・同経済学研究科・松山大学経済学部・広島経済大学大学院経済学研究科

### 学会及び社会における主な活動

1985 年 1 月 社会経済史学会幹事（編集委員）（1988 年 12 月まで）  
 1989 年 1 月 社会経済史学会理事（2004 年 12 月まで）  
 1989 年12月 和歌山地方史研究会幹事・副会長（現在に至る）  
 1991 年10月 日本移民学会運営委員（1995 年 10 月まで）

- 1986 年12月 和歌山市立博物館協議会委員（現在に至る）  
1987 年 2 月 和歌山県社会保険医療協議会委員（1995 年 10 月まで）  
1995 年 2 月 和歌山県文書館協議会委員（現在に至る）  
1995 年11月 和歌山県地方労働委員会公益委員（1997 年 3 月まで）  
1997 年 6 月 阪和育英会理事（2006 年 5 月まで）  
2000 年 1 月 和歌山県地方労働委員会公益委員（2006 年 3 月まで）

ほかに、和歌山県史・和歌山市史・粉河町史・新修大阪市史・和歌山市議会史・和歌山県同和運動史・かつらぎ町史・田辺市史・守口市史・和歌山県政史・泉佐野市史（現在に至る）・山口県史（現在に至る）の各編さん委員会・専門委員会・専門部会に委員として参加。

## 著 作 目 録

### 〔1〕 著書（共著を含む）

朝鮮における植民地金融史の研究	大原新生社	1978 年 6 月
和歌山県の百年	山川出版社	1985 年 5 月
庶民の歩んだ金融史（宮本又郎と共著）	プロダクション F	1991 年 2 月
企業勃興と地域経済——和歌山県域の検証——	清文堂出版	2004 年 3 月
和歌山県の歴史（小山靖憲他と共著）	山川出版社	2004 年 7 月

### 〔2〕 論文（資料紹介等を含む）

明治 30 年代の地主銀行	宮本又次編『商品流通の史的 研究』所収（ミネルヴァ書房）	1967 年 3 月
明治前期における出石第五 五国立銀行の分析	『大阪大学経済学』第 16 卷 第 4 号	1967 年 3 月
第十七国立銀行の史的分析	宮本又次編『史的研究 金融 機構と商業経営』所収（清文 堂出版）	1967 年 4 月
明治十年代の私立銀行（1,2）	九州産業大学『商経論叢』第 8 卷第 1・2 号	1967 年 12 月 1968 年 1 月
明治 30 年代の地方金融事情	『大阪大学経済学』第 18 卷 第 1 号	1968 年 9 月
明治前期における大阪第十三 国立銀行の分析	宮本又次編『大阪の研究 2—— 近世近代大阪の経済史的研 究——』所収（清文堂出版）	1968 年 9 月
農工銀行の不動産銀行化	九州産業大学『商経論叢』第 9 卷第 1 号	1968 年 11 月

国立銀行の経営破綻と合併	九州産業大学『商経論叢』第9巻第3号	1969年7月
熊本県の経済発展と金融機関	九州産業大学『商経論叢』第9巻第4号	1969年10月
農工銀行の融資機能の分析	九州産業大学『商経論叢』第10巻第1号	1969年12月
肥後農工銀行の史的分析	九州産業大学『商経論叢』第10巻第2号	1970年5月
北九州における八幡製鉄所関連下請企業の実態〔第1章分担〕	九州産業大学『産業経済研究所報』Ⅱ	1970年7月
明治前期の地方銀行	『経済理論』第118号	1970年11月
明治後期の日韓貿易と十八銀行	『経済理論』第121号	1971年5月
「日韓銀行」構想と「韓国拓殖銀行」設立計画について	『経済理論』第122号	1971年7月
第百二国立銀行と外国貿易金融	『社会経済史学』第37巻第2号	1971年8月
明治前期の日朝貿易と国立銀行（上・下）	『金融経済』第129・130号	1971年8月・10月
第五十二国立銀行の経営事情	『経済理論』第125号	1972年1月
ウラジオストク貿易と外国為替金融	『土地制度史学』第56号	1972年10月
貯蓄銀行の諸類型	『経済理論』第127～131合併号	1972年11月
ウラジオストク貿易概観	『経済理論』第133号	1973年5月
ウラジオストク貿易概観（続）	『経済理論』第134号	1973年7月
第四十三国立銀行の創設過程	『和歌山県史研究』第1号	1973年12月
久次米銀行の分析	地方金融史研究会編『地方金融史論』所収（大原新生社）	1974年7月

「韓国拓殖銀行」設立計画について	『経済理論』第 139・140 合併号	1974 年 7 月
朝鮮における植民地金融の展開	『経済理論』第 142・143 合併号	1975 年 1 月
朝鮮における貨幣制度改革と第一銀行券の発行（1・2・3・4）	『経済理論』第 146・147・153・154 号	1975 年 7・9 月・1976 年 9・10 月
企業金融の構造と展開	小林正彬他編『日本経営史を学ぶ 2』所収（有斐閣）	1976 年 8 月
台湾における植民地金融の展開と三十四銀行	秀村選三他編『近代経済の歴史的基盤』所収（ミネルヴァ書房）	1977 年 3 月
近代産業の発達と金融・貿易	宮本又次編著『日本経済史』所収（青林書院）	1977 年 4 月
和歌山県における地租改正と地価修正運動	『経済理論』第 165 号	1978 年 9 月
和歌山県域における地方銀行	安藤精一編著『和歌山の研究 3』所収（清文堂）	1978 年 11 月
領事報告制度と「領事館報告」について	『経済理論』第 168 号	1979 年 3 月
木炭史覚書	『エネルギー史研究』第 10 号	1979 年 3 月
明治末・大正初年における和歌山県域の銀行業と綿ネル金融	『地方金融史研究』第 10 号	1979 年 3 月
和歌山県貴族院多額納税者議員互選人名簿（1・2・3・4）	『経済理論』第 172～175 号	1979 年 11 月・1980 年 1・3・5 月
和歌山県域における銀行合同	朝倉孝吉編『両大戦間における金融構造』所収（お茶の水書房）	1980 年 2 月

解題——和歌山県農事調査書——	『明治中期産業運動資料』第9巻所収（日本経済評論社）	1980年2月
和歌山における地方史研究の現状と課題〔近現代〕	『和歌山地方史研究』第1号	1980年12月
和歌山県域の経済発展と有力資産家	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第1号	1981年5月
住友財閥の多角化と住友銀行の設立	安藤精一先生還暦記念論文集出版会編『地方史研究の諸視角』所収（国書刊行会）	1982年2月
和歌山県の工場規制について	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第3号	1983年3月
明治期有田地方の産業政策と野田四郎	『和歌山県史研究』第10号	1983年3月
工場法と工場規制	『経済理論』第194号	1983年7月
正隆銀行の分析	『経済理論』第198号	1984年3月
明治期の和歌山紡績会社・和歌山織布会社	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第4号	1984年3月
紡績財閥と地方銀行	渋谷隆一『戦前における地方財閥の展開と地方銀行』昭和59年度 総合研究A 研究成果報告書	1985年3月
和歌山——経済発展と地域の変貌——	南海道総合研究所編『南海沿線百年史』所収（南海電気鉄道株式会社）	1985年5月
明治期の和歌山商工会議所	安藤精一編『紀州史研究 1』所収（国書刊行会）	1985年12月
明治前期の貿易業者に関する資料	『大阪の歴史』17	1986年1月
第一次世界大戦前のカルフォルニアにおける日本人金融機関	『金融経済』第216号	1986年2月

熊野炭田史覚書	『和歌山大学紀州経済史文化 史研究所 紀要』第6号	1986年3月
ハワイでの日本人移民と銀行 の設立	『青淵』第446号	1986年4月
明治初期直輸出政策と「海外 試売」	『経済理論』第213号	1986年9月
第一次世界大戦前における海 外在留日本人商工業者につい て	『経済理論』第214号	1986年11月
領事館報告制度の発展と「領 事報告」の刊行	角山栄編『日本領事報告の研 究』所収（同文館）	1986年12月
商品陳列所について	角山栄編『日本領事報告の研 究』所収（同文館）	1986年12月
電力業における地場資本の形 成	安藤精一先生退官記念会編 『和歌山地方史の研究』所収 （同刊）	1987年6月
輸出貿易政策と海外商品見本 陳列所	『経済理論』第218号	1987年7月
和歌山県における地方史研究 の現状と課題	『和歌山地方史研究』第14 号	1987年12月
植民地地主と地方資本	『和歌山大学紀州経済史文化 史研究所 紀要』第8号	1988年3月
復刻版『通商彙纂』解説	（不二出版）	1988年5月
南海の工都・和歌山その他	安藤精一編『図説 和歌山県の 歴史』所収（河出書房新社）	1988年10月
紡績財閥	渋谷隆一・加藤隆・岡田和喜 編『地方財閥の展開と銀行』 所収（日本評論社）	1989年2月
北山川発電計画と新日本化学 工業株式会社	『和歌山大学紀州経済史文化 史研究所 紀要』第9号	1989年3月

近代の開発と和歌浦	『和歌山地方史研究』第17号	1989年8月
和歌浦開発と和歌浦土地株式会社	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第10号	1990年3月
商業会議所活動と海外通商情報	『経済理論』第235号	1990年5月
雑貨工業品輸出と海外通商情報	『経済理論』第241号	1991年5月
和歌山県域の近代漁業	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第12号	1992年3月
戦前期シアトルにおける日本人金融機関	『経済理論』第248号	1992年7月
戦前期カリフォルニアにおける横浜正金銀行と日系社会——1900～1935——	『大阪大学経済学』第42巻第3・4合併号	1993年3月
明治30年代の『大阪銀行通信録』	復刻版『大阪銀行通信録』第31巻所収（不二出版）	1993年5月
近代の和歌浦	藺田香融監修『和歌の浦 歴史と文学』所収（和泉書院）	1993年5月
地方都市の企業勃興	安藤精一編『都市史の研究——紀伊田辺』所収（清文堂）	1993年5月
紀州の洋学校と『紀州藩文庫』の翻訳書	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第14号	1994年3月
大阪地方の新設銀行	地方金融史研究会『戦後地方銀行史』Ⅱ所収（東洋経済新報社）	1994年5月
地方史研究の現状 和歌山県（執筆分担）	『日本歴史』第574号	1996年3月
雑貨品輸出と市場調査——麦稗真田製品の場合——	安藤精一・藤田貞一郎編『市場と経営の歴史』所収（清文堂出版）	1996年10月



大阪における銀行業の発展と銀行経営者	作道洋太郎編『近代大阪の企業者活動』所収（思文閣出版）	1997 年 4 月
復刻版『通商公報』解説	『通商公報』解説・総索引第 1 巻（不二出版）	1997 年 8 月
綿ネル業の比較産業史	『経済理論』第 295 号	2000 年 5 月
『大阪銀行通信録』と台湾・朝鮮金融市場——1910～30 年頃を中心に——	『大阪銀行通信録 解説・総目次』所収（不二出版）	2002 年 10 月
戦間期の町村財政と町村会——和歌山県粉河町の事例を中心に——	『経済理論』第 312 号	2003 年 3 月
和歌山県の市町村合併——明治と昭和の「大合併」を中心として——	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第 23 号	2003 年 3 月
長崎県・兵庫県	日経金融新聞社編，地方金融史研究会著『日本地方金融史』所収（日本経済新聞社）	2003 年 6 月
復刻版『日刊海外商報』解説	復刻版『日刊海外商報』別冊（不二出版）	2005 年 5 月
植民地金融機関編・解説（執筆分担）	『近代日本金融史文献資料集成』第 38 巻（日本図書センター）	2005 年 6 月
紀の川流域の小規模銀行	『和歌山大学紀州経済史文化史研究所 紀要』第 26 号	2005 年 12 月
財閥銀行の海外展開と上海金融市場	『経済理論』第 329 号	2006 年 1 月
〔3〕書評・その他		
作道洋太郎編『日本財閥経営史——住友財閥』	『社会経済史学』第 49 巻第 1 号	1983 年 4 月
泉州銀行編『泉州銀行 30 年史』	『地方金融史研究』第 14 号	1983 年 4 月

広本満『和歌山近郊農村の構造』	『和歌山地方史研究』第6号	1983年10月
波形昭一『日本植民地金融政策史の研究』	『地方金融史研究』第17号	1986年6月
『茨城県史』近現代編を読む	『茨城県史料』近代産業編Ⅲ, 付録19(茨城県)	1987年3月
神木哲男・杉浦昭編『近代移行期における経済発展』	『国民経済雑誌』第157巻第5号	1988年5月
岡田和喜『預金協定の史的展開』	『経営史学』第23巻第3号	1988年10月
木村健二『在朝日本人の社会史』	『歴史学研究』第622号	1991年7月
京都銀行編『京都銀行五十年史』	『地方金融史研究』第24号	1993年3月
『三重県史』資料編 近代3(産業・経済)	『三重県史研究』第10号	1994年3月
児玉正昭『日本移民史研究序説』	『社会経済史学』第62巻第1号	1996年7月
三木理史『水の都と都市交通』	『鉄道史学』第22号	2004年10月
柳沢遊・木村健二編『戦時下アジアの日本経済団体』	『経営史学』第39巻第4号	2005年3月
川東埤弘『高島亀太郎伝』	『社会経済史学』第71巻第3号	2005年9月
安秉珪『東洋拓殖株式会社土地経営方式と在来朝鮮人地主の経営方式について』(コメント)	『経営史学』第11巻第1号	1976年7月
和歌山商工会議所100年の歩み(小冊子)	和歌山商工会議所	1981年5月
津本陽『海商岩橋万造の生涯』文庫版解説	中央公論社	1987年1月

新宮地方と地域産業（講義要旨）	和歌山大学学芸学会編『公開講座'87』（和歌山大学教育学部）	1989年3月
田辺市史編纂の抱負 近現代	『田辺市史研究』第1号	1989年3月
和歌山関係の地方史研究文献目録（編集分担）	『和歌山地方史研究』第23・24合併号	1993年7月
永見伝三郎・大三輪長兵衛（辞典項目執筆）	『朝日／日本歴史人物辞典』（朝日新聞社）	1994年10月
アジア貿易と大阪の華商（講義要旨）	『大阪学講座 なにわ国際交流史』所収（大阪都市協会）	1996年10月
和歌山県ほか12項目（辞典項目執筆）	日本史広辞典編集委員会『日本史広辞典』（山川出版社）	1997年10月
二〇世紀の和歌山——歴史的展望	『和歌山県国民教育研究所月報』第226号	2000年1月
金融風土記 長崎県①～③	『日経金融新聞』	2000年11月30日・12月7日・14日付
金融風土記 兵庫県①～③	『日経金融新聞』	2001年1月25日・2月1日・8日付

## 〔4〕自治体史・業界史・会社史等の監修・編集・執筆

『和歌山県史』近現代史料4・5・6・7（編集分担）	和歌山県	1978年3月～82年3月
『和歌山市史』第7・8・9巻（編集分担）	和歌山市	1979年3月～82年5月
『和歌山商工会議所百年史』（執筆）	和歌山商工会議所	1982年12月
マイクロフィルム版『領事報告資料』（角山栄と共監）	雄松堂フィルム	1983年10月
『和歌山県史』近現代1・2（執筆分担）	和歌山県	1989年3月・93年3月

『和歌山市史』第3巻（執筆 分担）	和歌山市	1990年3月
『粉河町史』第4巻（小田康 徳と共編）	粉河町	1990年3月
『和歌山市議会史』第2・3・ 4巻（編集）	和歌山市議会	1990年3月 ～95年3月
『新修 大阪市史』第6巻 （執筆分担）	大阪市	1994年12月
『和歌山県同和運動史』史料 編（編集分担）	和歌山県同和委員会	1995年3月
『かつらぎ町史』近代史料編 （編集）	かつらぎ町	1995年3月
『田辺市史』第9巻（編集）	田辺市	1995年3月
『映像で綴る県政50年史』 （安藤精一と共監）	和歌山県	1995年12月
『紀陽銀行100年史』（監修）	紀陽銀行	1996年3月
『朝日新聞記事集成』第2・5 集（編集分担）	守口市	1996年12月・ 97年3月
『和歌山県同和運動史』通史 編（執筆担当）	和歌山県同和委員会	1998年3月
『和歌山県の鋳物』（監修）	和歌山県鋳物工業協同組合	1998年6月
『和歌山市議会史』第1巻通 史編（編集、執筆分担）	和歌山市議会	1999年3月
『守口市史』本文編第4巻 （執筆分担）	守口市	2000年5月
『和歌山大学五十年史』（執筆 分担）	和歌山大学	2000年11月
『和歌山県政史』第5巻（編 さん委員）	和歌山県	2002年3月

『田辺市史』第3巻通史編 (編集, 執筆分担)	田辺市	2003年2月
『粉河町史』第1巻通史編 (執筆分担)	粉河町	2003年8月